

校長室から 3月

今年も桜の開花が早いと予想していた3月が、冷たい風が吹き荒れる春となっています。今年の春は、入学式に桜が満開になりそうで楽しみです。

3月は別れの季節。今年度も多くの別れがありました。

3月15日(金)には、令和5年度第48回卒業証書授与式が行われました。83名の児童が、立派に卒業していきました。そして本日、3月22日(金)は、修了式と辞校式が行われました。16名の先生方が転退職されます。旭町小学校の子供たちの教育に尽力して下さった教職員の皆様に、感謝申し上げます。そして、我々教職員にご厚情いただいた地域、保護者の皆様に御礼申し上げます。

本日の修了式で、もうすぐ進級する子供たちに、このような話をしました。

「今日は、修了式です。とうとう1年が終わりました。

今、皆さんの代表の人に、修了証書を渡しました。修了証書は、皆さんが「この1年間、よく頑張っ、それぞれの学年の勉強や活動を修了することができました。」という証です。校長先生が、皆さん一人ひとりの頑張ったところや、成長したところを大事にして、全員の進級を認めました。今日、お家に帰ったら、修了証書をお家の人にしっかり見せて、大切に保管してください。

さて、3学期は、51日間ありました。1月9日の始業式で、「自分の目当てを実行できるようになりましょう。」という話をしました。きっと、みんなは、今日まで目当てを実行するために、勉強や運動を一生懸命頑張ってきたことと思います。特に、2月28日に行われた「6年生を送る会」では、旭っ子の心の成長を大きく感じる事ができました。心は目には見えませんが、みんなの心の輪が一つにつながっていると強く感じました。みんなの心を一つでつないでいる大きな力は、たくさんあると思いますが、校長先生は、三つの「あ」で考えました。

1つめの「あ」は、「挨拶」です。挨拶で心と心がつながりました。これからも、もっともっと明るいあいさつが響き渡り、「笑顔あふれる旭町小」になることを期待します。

2つめの「あ」は、「ありがとう」という感謝の気持ちです。頑張っている自分に「ありがとう」。家族の方に、「育ててくれてありがとう」。そして、学校で一緒に過ごした友達や下級生、お世話になった上級生、先生方に、「ありがとう」。さらに、皆さんを支えてくださっている地域の方や、係わってくださった全ての皆さんにも感謝しましょう。「ありがとう」という感謝の気持ちで、人の心は更に強くつながっていきます。

そして、3つめの「あ」は、「新しい学年に心をつなげよう」の「あ」です。学校は明日から春休みになりますが、新しい学年への準備は続けなければいけません。

4月5日の始業式まで、病気や事故に気を付けて、「自分の命」を大事にし、「笑顔があふれる旭っ子」でいてください。」

【校長室の窓から】 体育館に、卒業生の素晴らしい歌声が響きわたりました。

